

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	文化財課長 鈴木 庸一郎	
教育-40	文化財調査・整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化財課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保護

1 事業の目的

対象	市民等
意図	有形・無形文化財、民俗文化財、埋蔵文化財等を適切に保護する。
効果	文化財を適切に保護し、後世に伝える。

2 令和4年(2022年)度に実施した事業の概要

- 文化財専門委員会を3回開催し、市指定文化財1件を新規に指定した。
- 鎌倉市指定文化財の適切な管理のため、文化財の所有者に対し管理補助金を交付した。
- 建築工事等により失われる埋蔵文化財の記録保存のため、5箇所の発掘調査を市で実施した。
- 令和元年度～令和4年度までに実施した6件の発掘調査報告書を刊行した。
- 民間の調査会社を利用して発掘調査を実施する個人の費用負担軽減のため、補助金を1件交付した。
- 過去の発掘調査で撮影した写真、フィルムの恒久的な保管、活用のため、約6.5万枚をデジタル化した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	文化財の指定、調査、管理事業	報酬 調査委託料 指定文化財管理補助	新規市指定文化財件数(件)	608 / 617	617	617	98.54%
				6,260 / 6,878	3,684	3,684	
02	埋蔵文化財発掘調査事業	発掘調査作業委託 発掘調査費補助金 発掘調査用機材賃借	市による発掘調査件数及び発掘調査補助金交付件数	6 / 17	17	17	35.29%
				17,612 / 37,802	46,692	46,692	
03	埋蔵文化財調査管理事業	出土品保管箱整理作業 分室賃借料	再整理箱数(件)	3,849 / 1,000	1,000	1,000	384.90%
				90,650 / 54,275	58,880	58,880	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	48,498 / 61,740	72,623	72,623	
			地方債	0 / 0	0	0	
			その他特定財源	0 / 60	0	0	
			一般財源	66,024 / 37,155	36,633	36,633	
			事業費の合計(千円)	114,522 / 98,955	109,256	109,256	
			人件費(千円)	82,384	78,231	78,231	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	4.0	4.0	4.0	4.2		
会計年度任用職員	41.0	35.0	40.0	35.0		

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	文化財の指定、調査、管理事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指定に向けた調査件数を絞ったことにより、新規指定件数は未達となっているが、指定件数は着実に増えている。	有形・無形文化財、民俗文化財、史跡名勝天然記念物等の貴重な文化財を、調査・研究の成果に基づき指定・登録し、後世に確実に引き継いでいくため妥当な事業である。	未指定の文化財が非常に多いため、指定に向けて適切な現状把握を進める必要がある。
02	埋蔵文化財発掘調査事業	市が実施する調査件数は例年通りだが、補助金の交付を受けて自費で調査する件数が例年より少なく1件にとどまったため、目標未達となった。	文化財保護法に基づき、工事等により失われる貴重な埋蔵文化財を記録、保存して未来へ引き継いでいく事業であり、妥当である。	発掘調査に着手するまでの期間が長期化しており、改善を図る必要がある。
03	埋蔵文化財調査管理事業	再整理作業の対象となった遺物が例年に比べ大型のものが多く、想定以上の箱数を対象に作業を進めることができた。	貴重な文化財である出土品を適切に管理し、公開活用を進めることで、地域の歴史や文化を知る機会の創出につながるため、妥当な事業である。	発掘調査後の成果を速やかに公開するとともに、多量の出土品を効率的に保管、管理していく必要がある。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○・負担導入済
		○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△・協働未実施
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定文化財の指定、管理補助金の交付により、文化財の保護が円滑に図られている。</li> <li>・現在未指定の文化財の分布及び現況の把握に努め、指定に向けた検討を進めていく。</li> <li>・市が直営で実施する発掘調査件数を維持するとともに、発掘調査の待機時間短縮に向けて、引き続き発掘調査費補助金等を活用しつつ、体制を見直していく。</li> </ul>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	新規市指定文化財件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市にとって重要な文化財の適切な保護を進めるため。	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	実績値	1.0	1.0	1.0				
	達成率	33.3%	33.3%	33.3%				

指標(単位)	市による発掘調査件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
開発等によって失われる埋蔵文化財の記録保存を確実にするため。	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	実績値	5.0	5.0	5.0				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	指定文化財件数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	608	110	52	59	148	122	33	41

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	文化財の整備や管理、調整等に必要業務量は文化財の数に比例するため、自治体の人口規模や財政規模ではなく、指定文化財の件数を指標として、必要な経費を確保し、事務体制を整備する必要がある。
--------------------------	---